

日本留学体験談

生命環境学部 環境科学科 ジョ ヨンドさん

① なぜ日本留学を選んだのか

私が日本の留学を選んだのには、様々な理由があります。私は最初から日本に対して興味を持ったわけではありません。20年間(2000年～2019年)韓国で暮して、自分は中学校に通っていた時に進路について、初めて興味を持ちました。その時代、自分たちの世代の親は子供が公務員のような安定している職場に勤めることを望んでいました。私は、中学校1年生の時に小説作家としての夢を持って、大会に入賞する等、自信を持つようになりましたが、経済的に成功しにくいという現実を知って中学校3年生の時は夢をあきらめるようになりました。そして、中学3年生からは陸軍将校になりたかったが、陸軍将校も出身校によって進級が難しいという事実が分かって、一番進級しやすい士官学校(사관학교)という上級学校の進学を目標にするようになりました。しかし、この士官学校は韓国内でトップレベルの成績を持っていなければ入学できないため、陸軍将校も諦めることになりました。

絶望した私は、偶然通っていた高校が実施していた大阪、京都文化観光に参加するようになり、自信を持って日本語でコミュニケーションを図るようになった結果、同級生から日本語上手だとほめられるようになりました。その当時、私の高校は勉強ができる学生が多かったので学業面でほめられる機会が比較的少なかったのが本当に嬉しかったです。これをきっかけに日本留学について資料を集めて情報を調べ、夢を確固たるものにしました。それから始めて日本留学の夢を持つようになりました。

日本で就職をするということではなくても、多くの日本旅行をきっかけに日本という美しい国をより多くの人々に知らせ、日本に役立つ人材になりたいと、数多くの国の中で日本留学を選びました。



② なぜ県立広島大学への進学を選んだのか

自分が県立広島大学への進学を選んだ理由は地理的な面と専攻の二つの面からです。

まず地理的な面では、「なぜ日本留学留学を選んだか」で記述したように、日本に役立つ人材になりたいと、日本を知っていくのに、有利な地域ではないかと思い、広島県を選びました。それで、日本国内の田舎から都市まで旅をしながら、旅行先の市民がどんな生活をしているのかを把握するために、地理的に西日本の九州、四国、関西の真ん中に位置する中国地方の広島県にある県立広島大学への進学決めました。

専攻の面では、原子力発電所から発生する放射性廃棄物のような半減期が非常に長い高レベル放射性廃棄物を研究するのが夢でした。従って、放射線に関する研究を行っている県立広島大学への進学を決めました。

③ 受験勉強に関するアドバイス

日本の国公立大学以上を志望するなら EJU（日本留学試験）は必須です。そのほかにも、小論文、面接、英語の資格が必要なところがあります。学校に通いながら日本の大学の入学試験の勉強をすることは大変でしょう。ですので、真剣に留学を考えているのであれば、専門の塾に通うのも一つの方法だと思います。特に理系の場合、韓国のカリキュラムから外れた内容が出題されるので、一人では難しいと思います。日本語も外国語であるため、読み続けることで読解力が高まりますが、EJU の出題傾向に合わせて能力を育てることをお勧めします（短時間で問題を解く能力）。聴解と聴読解は、勉強すれば十分についていけると思います。私は物理、化学を選択したのですが、過去問を中心に解いてみることをおすすめします。英語でも、修学能力試験（韓国のセンター試験）の英語を十分に解けるレベルであれば、問題はないと思います。面接の場合も声を出してきちんと一生懸命答えたら問題ないですし、小論文も何でも書こうと努力すれば点数を取ることができると思います。学校の勉強とは距離感があるので、いつもメンタルケアをしながら十分時間をかけて、ゆっくり計画を立てて準備すれば、誰でも実現できると信じています。

④ 広島印象について

広島県は原爆ドーム、平和公園など有名な観光地と親切な人が多い所だと思います。広島に来る前は歴史が深く、ちょっと都会の感じのイメージでしたが、二年間住んでみて、日本国内でも本当に住みやすい都市だと感じました。自分は留學生活中、勉強だけでは生活に退屈を感じたりして、ヒーリングを求めて旅行をしました。広島にはこのような癒しの場所が沢山あります。島がとても多くて、みかん、レモンを栽培するところで収穫体験も出来ますし、宮島という島に行けば、広島のお土産である、牡蠣ともみじ饅頭が食べられます。そして、大久野島（ウサギの島）に行けば、島全体にウサギが生息しており、癒されます。

そして、広島県は東京、大阪ほど複雑ではないし、適度に日本の伝統的な文化や風景が残っている県です。また JR が通っているので（新幹線が通る地域）、そんなに田舎でもないのでも県外に遊びに行くのにもちょうど良いです。また、広島県の地理的特性から四国、九州、関西の中心に位置するので旅行しやすいです。日本という国は、縦にも横にも韓国と比べると本当に長い国です。南の方の宮崎県に行くと一年中雪はほとんど降らず、北海道に行くと南端の方と比べて本当に寒いと感じます。この中でも広島は韓国の南のような、はっきりした季節が見られます。

⑤ 学校生活について

新型コロナウイルス感染拡大時には、原則授業がオンラインになりました。しかし、私は理系の学生ですので、実験授業と3年次より行われる研究室での研究については、対面授業の方向で行われています。研究室によって卒業論文のテーマは多様であると予想していますが、自分の場合は、大気汚染に関するPM2.5の測定に関する研究も考えています。学校に登校しなくても自宅近くで測定可能なので少しずつ一人で研究を進めています。その他には、ドラッグストアでアルバイトをしています。学校に行かない日はアルバイトを通じて地域の人々と交流して社会人としてのマナーを勉強しています。アルバイトと学校を除けば、ここで出会った友達と買い物に行きながら料理と進路、趣味に関する話をしています。



⑥ 日本留学を考えている方へのメッセージ

海外で生活することは決して簡単ではありません。海外でも自分が努力しただけ戻ってくるので、熱心に生活をしながら様々な活動に参加する精神があれば、言語的にも文化的にもやっていけると思います。こういう言葉があります、「母国で社交性のある人は、どの国へ行っても友達を作れる」。つまり、交友関係は外国語能力とは関係なく、その人の人間性などが関わってくるということです。本当に自分の心がけや、行いが自分に戻ってくるので、いつも誠実に熱心に暮らせば良いと思います。外国人の身分として不便な点もあると思いますし、たまに諦めたくなるかもしれませんが、その度に助けてくれる人がいるということを心に留めて、気軽にいろんな方に相談してみてください。苦労した分だけ一生忘れられない思い出を作ることができる良い機会だと思うので、受験生の時には勉強だけ一生懸命したらいいと思います。いつか日本で笑いながらお会いしたいです。

